

## 食材の**残留農薬分析情報** H26-第1号

### 5 月度・残留農薬分析定期検査の結果(ご報告)

商品本部及び地方店舗の取り扱い等、全ての青果物等の食材の中から総合科学新潟研究所が 24 点を指定(品目・産地)し、農薬の残留状況进行分析しました。

★ 分析の結果、24 点全て残留農薬が国内基準・大庄基準以下であり、安全な食材であることを確認致しました。

★ 24 点のうち、22 点では残留農薬が一切検出されていません。

★ また、残る 2 点(こまつな、にら)は、大庄基準(国の基準の 1/2 以下)よりも低レベルの農薬検出であり、極めて安全な水準です。

#### [説明]

庄やグループの店舗で使用する野菜等の食材は、商品本部取り扱いや地方店舗での使用も含めた全てを対象に、自社の研究所が抽出調査で残留農薬分析を行って安全性を確認しています。

- 1 契約生産者グループ等の皆様から、安全性を迫及する庄やグループの考え方にご賛同を頂き、残留農薬がゼロの品目が年々拡大しており、前月(4 月)調査では、24 品目中 23 点が農薬の残留が無く、今月は 24 点中 22 点が残留農薬 0 でした。
- 2 残留農薬が検出された“こまつな”及び“にら”は、それぞれアセタミプリド 1ppm、シペルメトリン 0.1ppm の検出で、国内の安全基準、大庄基準と比較しても極めて低レベルの残留であり、食品安全の観点では安全が確認された食品です。

#### <参考>

- ① 調査対象食材(検体)の抽出方法  
大庄基準で定めた抽出方法(大庄ホームページに掲載)で、庄やグループの店舗への全ての流通(納品)を対象に抽出調査を行っています。
- ② 残留農薬の分析方法  
GC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いた、一斉分析法。
- ③ 分析対象農薬  
230 成分(殺菌剤 58,殺虫剤 98,除草剤 68,植物成長調整剤 4,薬害軽減剤 2)
- ④ にら、こまつなの残留に対する評価について  
当社の長年の分析結果から見ると、みつば、大葉、にら等の薬物野菜は、栽培期間が短いことから一般に流通しているものは国の安全基準以下での残留農薬が検出される製品が多い実態にあります。  
このため、庄やグループでは生産者の皆様からご協力をいただき、可能な限り無農薬栽培や、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

分析データ 食材の残留農薬分析結果 (平成 26 年 5 月度)

分析 株式会社大庄総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地	生産者	検出農薬	分析値 (ppm)	大庄 基準値 (ppm)	国内 基準値 (ppm)
1	こまつな	千葉	440	アセタミプリド	1	2.5	5
2	にら	高知	491	シペルメリン	0.1	3.0	6.0
3	トレビス	メキシコ	173	検出なし			
4	えのきたけ	長野	(有)きのこ王国	検出なし			
5	かぼちゃ	NZ	602	検出なし			
6	いちご	栃木	JA はが野	検出なし			
7	もやし	栃木	富士食品工業(株)	検出なし			
8	キャベツ	千葉	うなかみグリーンパーティー	検出なし			
9	にんじん	千葉	JA いちかわ	検出なし			
10	じゃがいも	長崎	605	検出なし			
11	たまねぎ	熊本	JA あしきた	検出なし			
12	きゅうり	群馬	JA 邑楽館林	検出なし			
13	ミニトマト	千葉	JA ちばみどり	検出なし			
14	ブロッコリー	愛知	JA あいち経済連	検出なし			
15	赤パプリカ	韓国	607	検出なし			
16	グリーンカール	茨城	八千代組合	検出なし			
17	にんじん	熊本	943	検出なし			
18	じゃがいも	鹿児島	605	検出なし			
19	アスパラガス	新潟	JA 北越後	検出なし			
20	ライム	メキシコ	608	検出なし			
21	ししとう	高知	JA 南国市	検出なし			
22	キャベツ	岡山	JA 岡山	検出なし			
23	みつば	福岡	(有)高田園芸	検出なし			
24	ブロッコリー	アメリカ	950	検出なし			

注) ① 生産者名の一部は、都合により生産者番号を記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppm は、青果物 1kg 当たりに 1mg の農薬が含まれることを示します。